



日々の授業実践から

今年度も計画訪問や外部講師研修会、ジャンプアップ研修、校内授業研究会などで多くの授業を参観させていただいています。日々、先生方は子ども達のための分かる授業、楽しい授業をしようと努力されています。今回は、その先生方の授業実践を紹介します。

1年生 道徳「よりみち」 柏城小学校 小野里梨花先生 ～ICTの活用とペアでお互いの意見を交流させる授業～

小学校1年生の道徳の授業。導入の段階では、最初にモニターを使って「きまりを守らなかったことはありますか。」というアンケートの結果を子ども達に紹介し、普段の生活について考えさせました。それから「どうしてきまりを守らなければならないのか、一緒に考えていきましょう。」と本題に入ります。

- ① 教科書のあらすじを紹介したあと、教師が範読をします。子ども達は、真剣に話を聞いていました。国語の授業ではないので場面や状況がある程度理解できるように工夫し、イラストなども使います。①②③④
- ② ここでタブレットを使います。自分の今の気持ちをハートマークで表す「心の数直線」というデジタル教材を使って、「子犬を抱っこしているときの気持ち」を考えます。ピンクは「うれしい」「楽しい」という明るい気持ちで、水色は「悲しい」「つらい」という暗い気持ちです。ゲージの増減と数値を指先で操作し、自分の気持ちを表します。この「心の数直線」を初めて使ったそうですが、子ども達は戸惑いなく使いこなしていました。
- ③ 先生は、子どもたちの気持ちを全て引き取るのではなく、「隣の人に犬を抱っこした気持ちを伝えてみよう」と、ペアを使って交流させます。これが多面的・多角的な思考につながっていきます。「どうして50%かというと…」と自分の気持ちを隣の友達に伝えていました。相手の意見を聞く子どももいます。全体的にはコの字の形の机の配置ですが、このように、ペアを上手に使い、さらに全体で意見を共有する場面が何度もありました。
- ④ 主人公のみさきさんの気持ちを考えながら、きまりを守ることにについて考えさせます。「自分のことしか考えない。」「きまりを守るのは自分。」などの意見が出て、さらに自分の生活を振り返ります。最後に振り返りを記入し終わりました。

小学校1年生でも十分にタブレットを使って自分の気持ちを表現できること、さらにペアを上手に活用すれば子ども達の考えも深めることができると感じる授業でした。参観させていただき、ありがとうございました。



第3回須賀川市立学校長会議

11月4日(火)に第3回須賀川市立学校長会議が行われました。教育長からは、各学校のグランドデザインをもとに成果が表れ、また、課題解決に向けて具体的に取り組んでいくこと、中学校においては、生徒の大切な将来にかかわる進路事務について確認を重ね進めていくこと、併せて不祥事根絶に向けて組織的に取り組んでほしいことなどの話がありました。

引き続き「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業デザインや、学校行事、部活動、特設活動などを工夫しての学校経営に期待するという話がありました。



適応指導教室「すこやか教室」 ミニコンサート



11月12日(水)に、4名のプロの音楽家の方々が来てくださり、演奏会を行いました。子ども達が、一度は聞いたことがあるクラシックやポップソング、クリスマスメドレーなど、ヴァイオリンやヴィオラ、チェロが奏でる素敵な音楽の世界を味わうことができました。チェロ奏者の方は、15歳から本格的に練習に取り組んだとのことで、夢を持つことの大切さを子ども達に話してくださいました。

就学時健康診断の様子から

「こっちだよ。」「階段気をつけてね。」「トイレは大丈夫?」「よくがんばったね。」など就学前の子ども達に優しく声をかけたり、絵本の読み聞かせを行ったりと、優しくサポートする6年生の姿がありました。

小さい子ども達に寄り添う6年生が頼もしく見え、その姿に心が温くなりました。6年間の成長って素晴らしいと感じる就学時健康診断でした。



就学についての説明会のお知らせ

令和9年度に入学するお子様で就学について相談してみたいとお考えの保護者の方々に、就学相談や「特別支援教育」についての説明会を開催します。

日時 令和7年12月3日(水) 午後1時30分から3時まで

場所 須賀川市役所4階 会議室C (担当 齋藤 電話0248-88-9168)